

# フリー便風

(現場)からの風

宮田守男

(43)

冬期間は暖房器具が欠かせない。だが、高齢社会の到来は、建物の老朽化や使用年数が大幅に経過した暖房器具で暮らす生活実態を

余儀なくされている。全国から、火災による高齢者の死亡状況を聞く度に、これから更に増えるのではと危惧してしまつ。

今月中旬に山ノ内町の老舗旅館「よひづや」

の国指定登録文化財「松籜庄」の火災が報道された。

「ようすや」と聞き、すぐに長野オリンピック冬季競技大

## オリンピック現場で繰り広げられた物語を知る事が大切だ

念ジャンプ日本代表監督の小野学さんを思い出す。小野さんは、よ

るが、旅館の次男として生まれ、何時もよく実家の自慢話を楽しんでいました。1

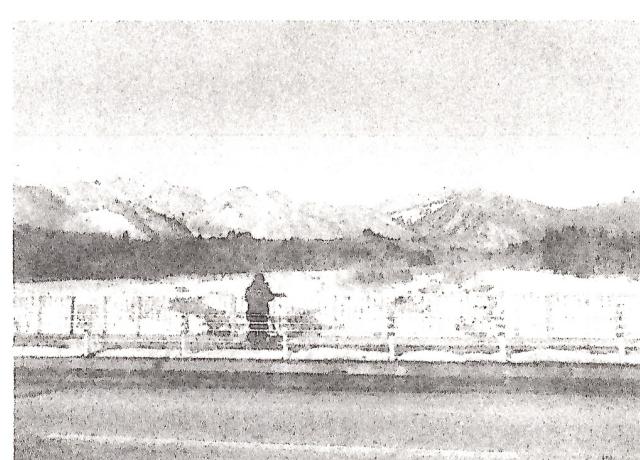
冬期間は暖房器具が欠かせない。だが、高齢社会の到来は、建物の老朽化や使用年数が大幅に経過した暖房器具で暮らす生活実態を

大会で優勝し、引退後は、ナショナルチームのヘッドコーチを務め、日本の黄金期を築いた。特に印象に残る思い出が2つある。1つは、選手のために多くの関係者に依頼をして、選手の練習環境

手の飛躍直後の映像をアップして観ることができるコンテンツであるビデオ・オン・デマ

新規コロナウイルスクチンの接種が始まっている。待ち望んだ接種だが、情報の伝え方はさまざま。「ようやく」「やっと」「ついに」など、どの言葉が適当なのか、混乱ぶりが伝わってくる。誰が考えても、世界人口とワクチン生産量。入手困難は分かり切っている。

予定人員が、当初より100万人増加は、医療の時点で、6回接種可能な注射器の確保は、驚く程困難。接種計画



松川・白馬大橋から多くのカメラマンが山並みを狙う、コロナ禍か冬季に似合わない服装が目立つ

で、医療関係者の接種一一番接種が必要な人には、いち早く接種を望みたいものだ。  
(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)